

公共交通機関をご利用のみなさまへ

大雪の際は、**早めの帰宅**をご検討ください！

ご注意ください

鉄道・バス等の遅延・運休により、長時間の乗車待ちなど、帰宅時などに大きな障害が生じる場合があります。



新潟駅タクシー乗り場



新潟駅バス乗り場

不要不急の外出は控えましょう

大雪の際は、公共交通機関も計画運休の実施や遅延など、大幅に運行の乱れが生じます。

気象情報と運行情報等をよく確認し、**外出時は早めの帰宅**をお願いします。

気象情報に加えて、最新の運行情報を確認し、**予定の前倒しや取りやめも含めた検討**をお願いします。



国土交通省 北陸信越運輸局

冬のおでかけは北陸信越運輸局HPをチェック！

大雪の恐れがある場合、段階に応じて情報を発信します。

北陸信越運輸局

検索

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/snow.html>



冬道を運転するドライバーのみなさまに 大雪に備えて3つのお願いです。



大雪の5~3日前のHP情報

- 早期注意情報発表 <警報級の大雪の可能性>
(気象台)
 - ・道路状況に関する注意喚起
(整備局・高速道路会社)
 - ・冬用タイヤの状態チェック等に関する注意喚起
(運輸局)

備える

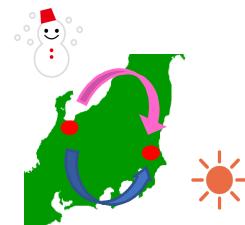


雪道対策を十分に
備える

大雪の3~2日前のHP情報

- ・大雪に関する気象情報 (気象台)
- ・道路の通行止め・各種規制の可能性
(整備局・高速道路会社)
- ・公共交通の乱れの可能性 (運輸局)

避ける



降雪地を迂回して運行
雪の多い地域の通行を
避ける

大雪の2日前～のHP情報

- 大雪に対する緊急発表 (合同記者会見)
- ・大雪等にかかる気象の見通し、警戒事項
(気象台)
- ・道路の通行止め予測、通行規制実施状況
(整備局・高速道路会社)
- ・公共交通の運休実施状況 (運輸局)

控える



集中的な大雪時は
外出を控える



車間を十分に保ちましょう



国土交通省 北陸信越運輸局

冬用タイヤの溝 大丈夫?

スタックしないよう冬用タイヤをチェックしましょう!

令和2年12月集中豪雪 関越道の様子



六日町 IC～塩沢石打 IC (18日11時頃)



土樽 PA～湯沢 IC (17日深夜)

自動車がスタックしないよう冬用タイヤをチェックしましょう!

スタックは交通渋滞等の原因、特に大型車がスタックした場合は、長時間で大規模な立ち往生により、高速道路や国道が通行止めになることがあります。

積雪・凍結道路においては、**必ず適切な冬用タイヤを装着し**、適切な措置を講じてください。

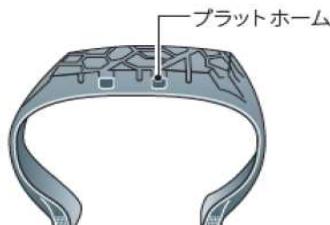
※運送事業者が立ち往生や事故を惹起した場合、監査を行い講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象となります。

- 積雪・凍結道路では、**冬用タイヤを全車輪に装着**
- 冬用タイヤの**溝深さが新品時の50%以上**あること



●プラットホームとは

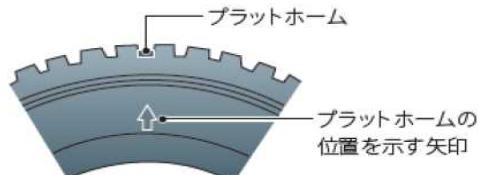
日本国内における道路交通法施行細則等によって定められた冬用タイヤとしての使用限度の目安となる新品時の溝深さから50%の位置にあるゴムの盛り上がりを設置した部分をいいます。



●プラットホームの位置

プラットホームの位置を示す矢印がタイヤの両側面にそれぞれ周上4ヶ所以上に表示されています。

残り溝深さが「プラットホーム」に達していると冬用タイヤとして使用できません。



雪道の運転にご注意！

車両構造／車両装置の特性 知っていますか？

4WD
FF/FR

駆動方式



横滑り防止装置



その他装置



ブレーキ
ABS、AEBS



冬用タイヤ
タイヤ・チェーン

掲載画像の一部は生成AIによって修正・加工されたものです。

雪道は、車両構造／車両装置の特性を理解し、
以下の安全運行を心がけてください

- いつもより速度を落とす
- 急発進・急ハンドル・急ブレーキをしない
- 下り坂はエンジンブレーキを主体に使う
- 車間距離を十分にとる



北陸信越運輸局 自動車技術安全部

＜雪道における車両構造、装置の特性＞



冬用タイヤ
タイヤ・チェーン

タイヤは「駆動・制動・操舵」のすべてを支えます。排水性能等が低下する雪道では、冬用タイヤ等なしでは車両性能を発揮できません。

POINT

- ・冬用タイヤの残溝が新品時の溝深さの50%以上あることを確認する
- ・冬用タイヤ交換後は、50~100km走行を目安にナットの締め付け状態を確認する
- ・冬用タイヤを装着していても急発進、急加速、急旋回及び急停止は不可
- ・大雪時は冬用タイヤ装着していてもタイヤ・チェーンが必要な場合がある
- ・タイヤ・チェーンの装着前にチェーンの損傷・ねじれ・破断がないか確認する



駆動方式

自動車の駆動方式の違いにより、雪道における車両挙動が変わってきます。

POINT

- 【FF】前輪(駆動輪)が重いため発進に強いが、登坂で前輪が滑ると失速しやすい
- 【FR】後輪(駆動輪)が軽いため、発進・加速で滑りやすい
- 【4WD】発進性能・安定性は高いが止まりやすさはFF・FRと同程度



ブレーキ
ABS、AEBS

雪道は、路面摩擦が小さく、タイヤもロックしやすいので制動停止距離が大きくなり、横滑りも発生しやすくなります。

POINT

- ・ABS(アンチロック・ブレーキシステム)は、タイヤをロックしないように制御する装置であり、「滑らないようにする装置」ではない
- ・アイスバーンではABSが作動しても停止距離は大幅に伸びる
- ・ABS作動時に作動音やペダルの振動があっても慌てない
- ・AEBS(衝突被害軽減ブレーキ)は、雪でレーダーやカメラが覆われるとき検知精度が低下し、作動しない場合がある
- ・横滑り防止装置は、横滑りが発生した後にブレーキ・エンジン出力を制御し姿勢を立て直す装置であり、「滑らないようにする装置」ではない
- ・横滑り防止装置が作動しないような安全運転を心掛ける
- ・横滑り防止装置の警告灯が作動した時は、特に慎重な運転をする
- ・ABS、AEBS、横滑り防止装置等の安全装置の能力には限度があるので過信しない
- ・車両がスタックした際、横滑り防止装置などの制御装置はOFFにする

※ このほか、各装置の詳細に関しては、取扱説明書やメーカーHPを確認してください



横滑り防止装置

POINT

- ・低温ではバッテリー性能が低下し、エンジン始動性が悪くなる
- ・寿命が近いバッテリーは寒冷時に急激に能力低下を起こすことがある
- ・ワイヤーゴムが硬化しやすいので冬用ワイヤーの使用が望ましい
- ・凍結時にワイヤーを動かすとモーター・ゴムを破損するため、必ずガラスの氷を溶かしてから使用する
- ・急激な温度低下には、寒冷地用の凍結防止ウォッシャー液が有効
- ・雪道は一般的に燃費が低下。また不測の交通障害も想定し、燃料を常に満タンにしておくことが望ましい



その他装置

車両構造・装置の特性を理解したうえで雪道の安全運行！！